

# 医心伝心 4 April

保健 医療 福祉 分野で社会に貢献します。

—メッセージ—  
新病院長 吉田憲生  
病院長就任にあたって

—特集—  
看護師の「特定行為」

—専門性を発揮し、迅速な医療で  
患者さんの苦痛を軽減—

## ■ かかりつけ医を持ちましょう

当院は、地域医療連携を推進しています。当院を受診される場合は、かかりつけ医からの紹介と予約が必要です。ご理解とご協力をお願いいたします。

## ■ 紹介状持参のお願い

当院は紹介受診重点医療機関です。初診の方は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）を必ずお持ちください。紹介状なしで受診された場合、初診時選定療養費（自費）7,700円（税込）がかり、待ち時間が長くなりますのであらかじめご了承ください。

## ■ 救急外来について

当院の救急外来は、重症度の高い患者さんを優先に診療いたします。円滑な救急医療を行うため、なるべくかかりつけ医か休日診療所、在宅当番医を受診してください。必要に応じて当院にご紹介いただくシステムになっています。

## ■ 予約変更専用窓口について

予約の変更・確認は、予約変更専用窓口で承ります。ただし、歯科口腔外科の場合は歯科口腔外科外来までご連絡ください。

予約変更専用窓口 0566-25-8103  
歯科口腔外科外来 0566-25-8020

## 病院長就任にあたって

刈谷豊田総合病院 病院長 吉田 憲生



2024年4月1日付で刈谷豊田総合病院の病院長を拝命いたしました吉田憲生でございます。この度の病院長の就任に際し、私の目標をお伝えしたいと思えます。

刈谷豊田総合病院は「幸せ」を届ける病院でありたいと考えています。

一つ目は「患者さんの幸せ」です。患者さんが適切な医療を安心・安全に受けられるよう、医療者は知識と技術の研鑽を重ね、医療倫理にも十分配慮した患者さん本位の医療を提供できるように努めてまいります。二つ目は「地域の幸せ」です。地域医療構想に基づいて、地域の医療機関との連携をさらに強化し、いつでもどこでも適切

な医療が受けられる医療圏を目指します。

また、地域の皆さんにいつまでも安心して暮らしていただくために、救急医療・災害医療の提供体制を維持いたします。

田中前病院長は2020年初頭から吹き荒れた、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行に対し、高い指導力でその難局を乗り切ってこられました。後を引き継ぎ、当院を次なる高みへ押し上げて、患者さん、地域の皆さんに愛され、信頼される病院を築き上げていくことが私の使命と考え、精一杯努めてまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご支援のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## Hospital News [ホスピタルニュース]

NEWS

1

### 通院支援アプリ導入のご案内

医事室 患者サービスグループ

患者さんへのサービスの向上と通院のための支援として、スマートフォンアプリを利用したサービスを開始しましたので、ぜひご登録ください。

#### ① 予約確認機能

いつでも予約日時を確認できるとともに、前日に通知が届くため、予約日忘れが防げます。

#### ② 診察状況お知らせ機能

診察の待ち状況を確認でき、各科外来のモニタにご自身の番号が表示されるタイミングで通知が届くため、待ち時間を車や売店などお好きな場所で過ごせます。

#### ③ らくらく会計機能

クレジットカードを登録すると、診察後は会計を待たずにお帰りいただけます。

※一部利用できない場合があります

### ご登録方法

#### ① アプリをインストール



※タブレットには対応していません

#### ② 病院内のアプリ受付窓口で利用者登録 (病院登録用QRコードを読み取り)

- ・ 診療棟2階総合受付 1~3番窓口  
8時30分~16時30分(月~金曜日)
- ・ 1棟1階受付  
9時~16時(月~金曜日)

当院では、医療サービスの向上を目的に、毎年、患者満足度調査を実施しております。2023年10～11月に実施しました調査（Webまたは紙のアンケートで満足度を選択）の結果をご報告いたします。詳細な結果は、ホームページをご覧ください。

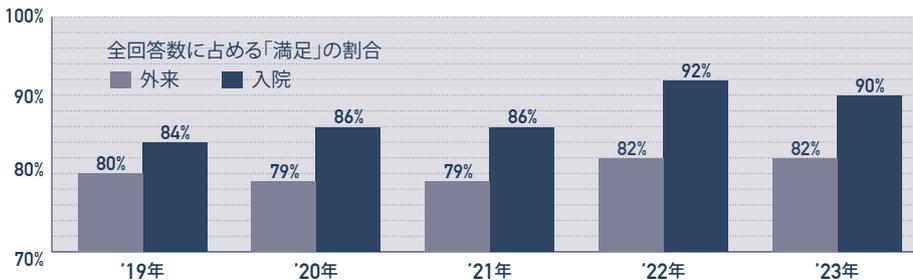
また、自由記載欄に500件以上のご意見をお寄せいただきました。貴重なご意見を今後の病院運営に生かしてまいります。調査にご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

詳細な結果は  
こちら



### 総合評価

「全体として、当院を信頼・満足している」の項目は、おおむね高い評価をいただきました。引き続き、病院全体で満足度向上に努めてまいります。



※回答は「とても満足、やや満足、普通、やや不満、とても不満」の5段階

$$\text{満足} = \frac{\text{とても満足、やや満足の件数}}{\text{総回答数}} \%$$

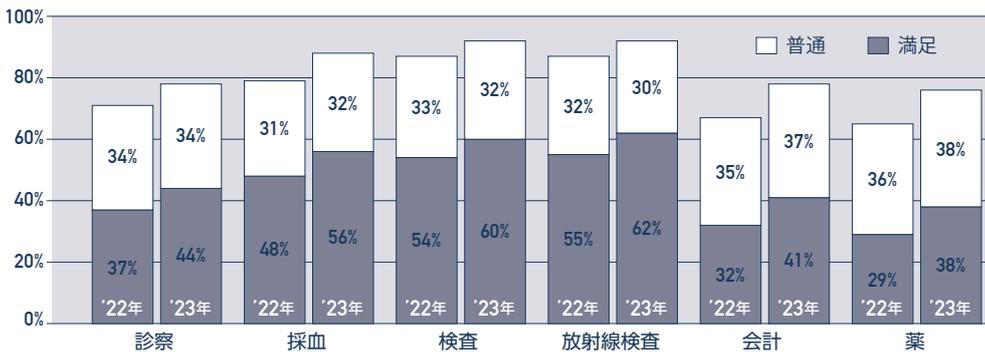
$$\text{普通} = \frac{\text{普通の件数}}{\text{総回答数}} \%$$

$$\text{不満} = \frac{\text{やや不満、とても不満の件数}}{\text{総回答数}} \%$$

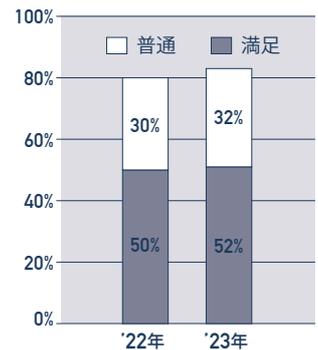
### 2022年度 改善が必要と考えた項目

2022年度の調査結果で改善が必要と考えた「外来の待ち時間」「入院中の食事の内容・味」の項目について、2023年度は満足度が向上しました。

#### ●外来の待ち時間の満足度



#### ●入院中の食事の内容・味の満足度



長年のボランティア活動が評価され、ゆうあいの会が、ボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受けました。

病院で活動を始めて、29年目。コロナ禍で、一時は活動休止を余儀なくされましたが、2022年より再開し、感染対策に留意しながら車椅子の介助や受診される診療科へのご案内などを行っています。患者さんからの「ありがとう」が何よりの支えです。さまざまな年代の患者さんや職員の方とお話できることも活動の糧となっています。



常時会員募集 一緒に活動しませんか お問い合わせ 0566-25-2810(総合相談室)



編集委員からこんにちは

4月は入学式・入社式のシーズン。希望に胸をふくらませた初々しい新人と桜の花びらが舞う光景に「新しい季節の始まり」を感じ、新鮮な気持ちになります。

お花見もこの時期のお楽しみ。眺めの良い場所で桜を見ながらおいしい物を食べて、お腹も心も満たしてみませんか。

広報委員 爾見 ちひろ

特集

# 看護師の「特定行為」

—専門性を発揮し、迅速な医療で  
患者さんの苦痛を軽減—



特定行為・特定看護師とは

看護師の業務は、保健師助産師看護師法で「療養上の世話又は診療の補助」と定められています。

特定行為とは、高度で専門的な知識・技能を研修により身に付けた看護師が、医師があらかじめ作成した手順書（指示）をもとに行う「診療の補助」です。

厚生労働省の「特定行為に係る看護師の研修制度」による所定の研修（以下、特定行為研修）を修了した看護師が、特定看護師と呼ばれ、特定行為を実施できます。特定行為は38行為あり、どの研修を受けたかで、実施できる行為が異なります。

特定看護師は、患者さんの状態に合わせて、タイムリーに医療を提供できます（図1）。手順書の範囲内に限られますが、医師の到着を待っている間に病状が悪化してしまう事態を防ぐことができますようになりました。



図1. 特定行為の実施の流れ 脱水を繰り返すAさんの例



特定看護師が求められる背景

厚生労働省は、少子高齢化に伴い需要が高まる在宅医療を支える看護師を計画的に育成する目的で、2015年に「特定行為に係る看護師の研修制度」を創立しました。2025年までに10万人以上の育成を目指しています(2023年3月時点、6875名)。

■特定看護師に求められる主な役割

- ・在宅医療における、質の高い効果的なケアの提供
- ・新興感染症(新たな病原体による感染症)感染拡大などの緊急的な状況における、重症患者さんへの対応
- ・医師の業務の一部を担うことによる、医師の労働時間短縮

当院で実施可能な特定行為

当院には6名の特定看護師がおり、実施できる特定行為は15行為です(表1)。

■研修後も、学びは続く

当院では、特定行為研修の受講を積極的に支援しており、院内で力を発揮できるよう医師など他の職種にも特定行為について周知しています。また、独自の「特定行為研修修了者フォローアッププログラム」を設けており、特定看護師は、特定行為研修修了後、院内で6カ月にわたる教育を受けることになっています。オンライン学習や実践事例の振り返りなどを通じて、患者さんの状態を分析・評価するアセスメント能力や特定行為の技術向上に努めます(表2)。

また、医師と共に何度も特定行為を実施し、医師から能力が十分にあると認定された特定看護師のみが、特定行為を実施する決まりになっています。

表1. 当院で実施可能な特定行為 (2024年4月1日現在)

	特定行為
1	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
2	侵襲的陽圧換気の設定の変更
3	人工呼吸器からの離脱
4	気管カニューレの交換
5	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
6	中心静脈カテーテルの抜去
7	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
8	じよくそう 褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去
9	せんし 直接動脈穿刺法による採血
10	どうこつ 橈骨動脈ラインの確保
11	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
12	脱水症状に対する輸液による補正
13	インスリンの投与量の調整
14	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
15	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

表2. 特定行為研修修了者フォローアッププログラム

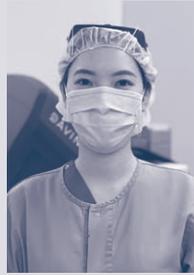
	修了時	1カ月後	3カ月後	5カ月後	6カ月後
知識・技術	<input type="checkbox"/> 実践技術の確認 <input type="checkbox"/> アセスメントの確認		<input type="checkbox"/> 実践技術の確認 <input type="checkbox"/> アセスメントの確認	<input type="checkbox"/> 手順書の見直し	<input type="checkbox"/> 実践技術の確認 <input type="checkbox"/> アセスメントの確認
事例検討			<input type="checkbox"/> 事例検討		<input type="checkbox"/> 事例検討
役割理解	<input type="checkbox"/> オンライン学習(修了者として活動するコツ) <input type="checkbox"/> チームでの共有	<input type="checkbox"/> 特定行為研修修了者の役割(教育研修センター担当者と面談) <input type="checkbox"/> チームでの共有	<input type="checkbox"/> オンライン学習(周囲との関係性構築のコツ) <input type="checkbox"/> チームでの共有	<input type="checkbox"/> 多職種との円滑な協働 <input type="checkbox"/> チームでの共有	<input type="checkbox"/> 組織への貢献度
振り返り	<input type="checkbox"/> 手順書の作成を医師と共に行う <input type="checkbox"/> 周知活動への参加	<input type="checkbox"/> 実践の振り返り	<input type="checkbox"/> 実践の振り返り	<input type="checkbox"/> 実践の振り返り	<input type="checkbox"/> 実践の振り返り
評価					<input type="checkbox"/> 力量評価実施



鵜飼 峻

修了した分野  
術中麻酔領域

看護的視点と医学的視点の知識や技術を合わせながら、患者さんが安心・安全に手術を受けられるよう心掛けています。



伊藤 千晶

修了した分野  
術中麻酔領域

手術室で活動しています。手術が苦痛なく安全に行えるよう、麻酔科医師と協力しています。患者さんに寄り添い、質の高い特定行為が実践できるよう努めます。



本田 千春

修了した分野  
慢性疾患管理  
モデル  
(糖尿病ケア)

糖尿病看護認定看護師として培ってきた知識や技術を基盤に、特定行為研修で得られた医学的根拠に基づく特定行為を実践し、患者さんに丁寧に応えていきたいです。



石川 奈央

修了した分野  
在宅・慢性期  
領域

患者さんの苦痛が最小限となるよう活動しています。患者さん主体の最善のケアを考え、行動できる特定看護師であり続けたいです。



中村 千恵

修了した分野  
術中麻酔領域

一般病棟・救急領域で活動をしています。研修で身に付けた技術を最大限に活用できるよう、医師との協力体制や環境を整え、安全な特定行為の提供に努めます。



隅田 信一郎

修了した分野  
在宅・慢性期  
領域

今後は、自宅や施設で生活する療養者の方に向けた特定行為が実践できるよう、活動を広げていきたいと考えています。

■急変患者さんへのタイムリーな対応

患者さんの状態が急変し、RRS(院内迅速対応システム)メンバーとして駆け付けた際、いち早く原因を特定する必要があると判断し、心肺機能などを調べるための動脈血採血検査を行いました。ドクドクと拍動している動脈に直接針を刺すため、一般の看護師は行いません。特定行為が迅速な治療につながりました。

■医師の業務負担軽減

医師が緊急手術に入り、予定していた入院患者さんの中心静脈カテーテル(心臓に直接流れ込む静脈に入れる点滴の管)を抜く処置ができなくなった際、医師に代わって実施しました。医師が、手術などのより専門的な分野で力を発揮することが可能になりました。

■患者さんの苦痛軽減

点滴の針が入らず困っている看護師から依頼を受けて、超音波装置を使用して針を入れました。何度も針を刺すことは患者さんの苦痛を増強させます。特定行為研修で学んだ知識や技術を日々の看護ケアに生かして苦痛軽減に努めています。

## 健診センター

年に1回、人間ドックや  
健康診断を受けてみませんか？ **完全予約制**



女性専用  
エリアを設置

TEL 0566-25-8182

受付時間 月～金曜日  
8時～16時



<https://www.toyota-kai.or.jp/facility/center/>

### 受けよう！乳がん検診

乳がんは、女性がかかるがんの中で最も多く、年々患者数が増えています。しかし、早期に発見・治療すれば、完治する確率が高いのも特徴です。少なくとも40歳になったら、自覚症状がなくても、2年に1度はマンモグラフィ検査を受けるようにしましょう。要精密検査と判定された場合、マンモグラフィの追加撮影や超音波検査、細胞や組織の一部を採取して調べる病理検査などを行います。

## 相談窓口

心配なこと、お困りのことなどが  
ありましたら以下の窓口まで！

治療や療養上の総合的な相談  
医療安全・医療事故に関すること ➔ **患者相談窓口**

療養中の不安や  
医療・福祉・介護の制度について ➔ **総合相談室(医療福祉)**

がんに関する相談  
(お電話でも相談可) ➔ **がん相談支援センター**  
(がん相談窓口:0566-25-8110)

受付時間 月～金曜日  
8時30分～16時45分

場 所 正面玄関入って右

## イベント・教室

水曜会(乳がんと診断を受けた方の会) ※予約不要

開催日時 5月15日(水)、7月17日(水) 14時～15時30分

場所 診療棟4階 がん情報ラウンジ

がんサロン(がん患者さんとご家族の集い) ※予約不要

開催日時 4月15日(月)、5月20日(月) 14時～15時

場所 診療棟4階 がん情報ラウンジ

ピアサポーター(がん治療体験者)による相談会

社会保険労務士による就労支援のための相談会

※予約制や新型コロナウイルス感染防止のため中止している  
教室がございます。詳細は当院ホームページをご確認ください。

<https://www.toyota-kai.or.jp/hospital/public/>



患者・家族の皆さまへのお願い

■呼吸器内科部長・臨床研修センター長  
武田直也医師より

より質の高い医療を提供するため、当院でも看護師による特定行為研修を開始し、一部の患者さんには研修にご協力いただいております。看護師による特定行為が導入されることで、より迅速な医療の提供ができるようになりますと考えています。医学・看護両方の視点から、患者さんの療養をより良いものにするように尽力してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

■特定看護師より

特定行為を実施するメリットは、特定看護師が医療チームの一員として、患者さんの状態に応じてタイムリーに治療を提供できることです。また、患者さんやご家族の立場に立った説明ができ、「治療」と「生活」の両面から支援できます。

特定行為は、事前にご説明の上、医師の助言や指導を受けて実施いたします。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

院内に掲示しているポスター

### 患者さんへのご案内

当院では特定看護師が  
特定行為を実施しています

※特定看護師とは、厚生労働省の「特定行為に係る看護師の研修制度」による所定の研修を修了し、医師があらかじめ作成した手順書（指示）に従い、特定行為を行う看護師の当院での呼び名です。対象となる患者の皆さまへ事前にご説明の上、実施させていただきます。皆さまのご理解、ご協力をお願いします。



特定行為に関するご質問・ご相談などのお問い合わせは、  
患者サポートセンター「総合相談室」までお申し出ください。

医療法人豊田  
刈谷豊田総合病院

## 能登半島地震の被災者、 自らも被災者であるにも関わらず働き続ける医療スタッフを支援

DMAT(災害派遣医療チーム)看護師 磯部 美穂

能登半島地震発生翌日に派遣要請を受け被災地へ向かいましたが、道路状況が劣悪で、到着までに時間を要しました。到着後は、常に情報収集に追われながら、複数の病院・高齢者施設・避難所に出向き、被害状況の確認や避難支援、他の病院への搬送などを行いました。がれきの下に長時間挟まれていた方が搬送された場面にも遭遇。また、飲食ができないことで発症したと思われる脳梗塞や腎不全の方などの診療も行いました。



全国から駆け付けたDMAT

活動拠点の病院では、医療提供体制を維持しようと病院に残るスタッフや、家族の安否が分からない状況の中でも勤務し続けているスタッフがあり、少しでも現地のスタッフが休めるよう夜勤を交代し、救急診療や入院患者さんの対応に当たりました。

### 当院の医療支援活動

- ・DMAT3隊、災害支援ナース4名、作業療法士2名、臨床検査技師1名を被災地へ派遣
- ・DMATは愛知県庁・名古屋空港で患者搬送調整なども実施



[豊田会理念] 保健・医療・福祉分野で社会に貢献します

[豊田会方針] 温かい思いをこめた、質の高い保健・医療・福祉サービスを提供します

### [病院方針]

- 1.患者権利の尊重・患者第一主義
- 2.地域中核病院としての機能充実
- 3.ICT技術の活用
- 4.働きがいのある職場づくり・人材育成
- 5.研修医・専攻医の育成
- 6.持続可能な医療提供
- 7.コンプライアンス(社会的責任を果たす)

### [患者の権利と責務]

私たちは患者の皆さまの権利を尊重し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

そのためには、患者の皆さまの主体的な参加が不可欠です。

以下に掲げる事項は、患者さんと医療従事者が守るべき事項です。

#### 【患者の権利】

1. 安心して最善の医療を公平に受ける権利を尊重します。
2. 医療機関を自由に選択し、他の医師の意見を求める権利を尊重します。
3. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を尊重します。
4. 治療に関する方法を自己の意思で決定する権利を尊重します。
5. 個人の情報が保護される権利を尊重します。

#### 【患者の責務】

1. 自ら選んだ治療方針に沿って医療に参加する責任があります。ご自身の健康に関する情報を医療者にできるだけ正確に伝え、また、同意された医療上の指示に従ってください。
2. 病院の規則を守り、犯罪行為、迷惑行為を行わないなどの社会的ルールを守る責任があります。
3. 検査や治療のために、必要な医療費を負担する責任があります。



## ご意見箱

当院に設置しているご意見箱にお寄せいただいた皆さまからのご意見と回答をホームページに掲載しています。貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。



### お詫び

医心伝心1月号P05「日本人女性に増えている乳がん～診断と治療～」において、一部文章に誤りがございました。

お詫びして訂正いたします。ホームページ上のPDFファイルは修正済みです。● 病的な変更があれば ○ 病的な変更があれば



日本医療機能評価機構の  
認定を受けています



卒後臨床研修評価機構の  
認定を受けています

ISO15189  
2010年11月に認定

刈谷豊田総合病院

検索

<https://www.toyota-kai.or.jp/>

バックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます

